



……一切外国的东西，如同我們对于食物一样，必須經過自己的口腔咀嚼和胃腸运动，送进唾液胃液腸液，把它分解为精华和糟粕两部分，然后排泄其糟粕，吸收其精华，才能对我們的身体有益，决不能生吞活剥地毫无批判地吸收。

毛泽东

地震文献索引

(日文部分)

中国科学院中南分院武汉图书馆
武汉地区中心图书馆委员会 合編

一九六八年六月

毛主席最新指示

我国有七亿人口，工人阶级是领导阶级。要充分发挥工人阶级在文化大革命中和一切工作中的领导作用。工人阶级也应当在斗争中不断提高自己的政治觉悟。

建立三结合的革命委员会，大批判，清理阶级队伍，整党，精简机构、改革不合理的规章制度、下放科室人员，工厂里斗、私、批、修，大体经历这么几个阶段。

从旧学校培养的学生，多数或大多数是能够同工农兵结合的，有些人並有所发明、创造，不过要在正确路线领导之下，由工农兵给他们以再教育，彻底改变旧思想。这样的知识分子，工农兵是欢迎的。

广大干部下放劳动，这对干部是一种重新学习的极好机会，除老弱病残者外，都应这样做。在职干部，也应分批下放劳动。

一个人有动脉，静脉，通过心脏进行血液循环，还要通过肺部进行呼吸，呼出二氧化碳，吸进新鲜氧气，这就是吐故纳新。一个无产阶级政党也要吐故纳新，才能朝气蓬勃。不清除废料，不吸收新鲜血液，党就没有朝气。

我们的权力是谁给的？是工人阶级给的，是贫下中农给的，是佔人口百分之九十以上的大劳动群众给的。我们代表了无产阶级，代表了人民群众，打倒了人民的敌人，人民就拥护我们。共产党基本的一条，就是直接依靠广大革命人民群众。

毛 主 席 語 录

自然科学是人们争取自由的一种武装。人们为着要在社会上得到自由，就必须用社会科学来了解社会，改造社会进行社会革命。人们为着要在自然界里得到自由，就要用自然科学来了解自然，克服自然和改造自然，从自然里得到自由。

在边区自然科学研究会成立大会上的讲话（一九四〇年二月五日），一九四〇年三月十五日《新中华报》

我们一定要有无产阶级的雄心壮志，敢于走前人没有走过的道路，敢于攀登前人没有攀登过的高峰，我们一定要把佔世界人口四分之一的社会主义中国建设好，使它成为无产阶级的铁打江山，永不变色。

中国共産党第八届中央委员会第十一次全体会议公报

中国人民有志气，有能力，一定要在不远的将来赶上和超过世界先进水平。

1966年10月29日《解放軍报》

西方资产阶级有的，东方无产阶级要有，西方资产阶级没有的，东方无产阶级也要有。

关于原子彈氢彈的指示 1958年6月

目

次

地震学

一般问题	1
观测技术	5
观测仪器	9
模型研究	14
地震机制	16
地震波	24
震光、微震、余震	35
火山地电地磁	41
地震地质	48
地震的海洋学研究	60
爆炸地震	69
地震调查	72
地震区划	77
震灾、防震	79
附潮汐	91

地震学

一般問題

- 0001 地球振動(智利地震后)
地球振動(チリ-地震以
后)
竹内均
地震(2) 17-1
- 0002 地球振動(智利地震前)
地球振動(チリ-地震以
前)
佐藤泰夫
地震(2) 17-1
- 0003 地球振動の重力計観測
重力計によつて観測さ
れた地球振動(英文)
佐藤泰夫他
東京大学地震研究所彙報
41-4
- 0004 地球的自由振動
地球の自由振動
竹内均
科学 31-2
- 0005 重力計所記録の地球自由
振動
重力計に記録された地球
振動
西村英一他
地震(2) 14-2
- 0006 用重力計観測地球の自由
振動
重力計しこ記録された地
球振動
竹内均
地震 15-2
- 0007 決定不均質弾性球体半径
方向自由振動の方法
半径方向に不均質な弾性
球の自由振動のデグリー
ーを決める方法(英文)
佐藤泰夫他
東京大学地震研究所彙報
41-2
- 0008 地球の扭轉振動
地球のねじり振動
竹内均
地震(2) 11-2
- 0009 地球の扭轉振動
地球のねじり振動-2-
竹内均他
地震(2) 13-3
- 0010 地球の扭轉振動
地球のねじり振動-3-
竹内均他
地震(2) 14-3

- 0011 地核的剛性率与扭转振動
ねじれ振動と地球核の剛
性率地震
津田宏他
地震 16-3
- 0012 弾性球体扭转振動の軟心
光譜分離及其有關問題
軟い核の存在による弾性
球のねじれ振動スペクト
ルの分裂とこれに関連
した問題(英文)
佐藤泰夫
東京大学地震研究所彙報
42-1
- 0013 各種外力引起的振子運動
の過度状態
種々の外力による振子の
運動の過度状態について
村松郁榮
岐阜大学工学部研究報告
7
- 0014 非均質弾性球体振動問題
的計算程序
非均質弾性球の振動問題
その他を計算するため
のプログラム
竹内均
地震 14-4
- 0015 油壺湾周圍副振動同時測
定の結果
油壺湾周辺における副振
動同時測定結果
林哲郎
測地学会誌 5-2
- 0016 地球振動微分方程式 $Y=0$
起的積分法
地球振動の微分方程式を
 $Y=0$ から積分するた
めの工夫地震
竹内均 16-1
- 0017 特征方程式の複数根
特性方程式の複数根
田治米鏡二
地震 18-3
- 0018 二维直交曲线座標中等質
等方弾性体の平衡方程
式的解
柱状直交曲线座標におけ
る等質等方弾性体の平
衡方程式の解
宇佐美童夫
地震 16-3
- 0019 从函数表求函数及其导数
函数零点的程序
函数表からその函数および
導函数の零点を求める
サブプログラム
佐藤泰夫
地震 16-1
- 0020 等質等方弾性体運動方程
式解的注釋
等質等方弾性体の運動方
程式の解についての注
意(集報)
宇佐美童夫
地震 15-4
- 0021 等方等質弾性体運動方程

式解的重視
等方等質弾性体の運動方
程式の解についての注
意
宇佐美竜夫
地震 (第2輯) 14-1

0022 解特徴方程式の簡便方法
永年方程式の簡便な解
き方
竹内均
地震 (第2輯) 11-1

0023 線性二階常微方程式の漸
近展開
線形二階常微分方程式の
漸近展開 (寄書)
竹内均他
地震

0024 最小自乗法決定系数的相
面関係
最小自乗法によって決め
た係数相互の関係につ
いて
安芸敬一
地震 (第2輯) 14-3

0025 $\log N = a - b_n$ 式中 b の最
大似然估算及其置位極
限
 $\log N = a - bM$ の関係式
における b の値の最尤
度法による推定と信頼
限界 (英文)
安芸敬一
東京大学地震研究所彙報
43 (2)

0026 利用最小二乗法求係数的

相互関係
最小二乗法により求めら
れた係数相互の関係に
ついて安芸の解釋につ
いて
救正
北海道大学地球物理学研
究報告

0027 等方等質弾性体對於橢圓
形座標の解
回転橢圓座標における等
方等質弾性体の平衡方
程式の解
宇佐美竜夫
地震 (第2輯) 13-2

0028 1960年5月22日智利地震
引起的地球短周期自由
振盪及有关問題
Short period free osc-
illation of the earth
caused by the Chilean
earthquake of May 22,
1960 and related pro-
blems
Nagamms T.
J. of Physics of the
Earth. 1964 Vol.12
NO.2

0029 均匀弹性球体振動的基本
研究
Basic study on the os-
cillation of a homo-
geneous elastic sp-
here 4.
Sato Y.
The Geophysical M-
agazine 31-2

0030 地球的自由振動
Free oscillations of the
earth
Takeuchi H.
Geophysical Notes.
1961 14-1

A Warning Against
the use of formula,
 $\log N = a + b(8 - M)$
In Geophysical Papers
dedicated to Profess-
or Kenzo Sassa.
Kyoto, Japan, Kyoto
Univ. Geophys. Inst.
P. 555-556 1963

0031 对使用 $\log N = a + b(8 - M)$
公式的告诫

地 震 予 报

0032 地震予报与地震学
地震予知と地震学
安芸敬一
科学 34-8

0037 松代地震群与地震予报
松代地震群と地震予知
萩原尊礼
科学朝日 25(12)91-95

0033 地震予告
地震の予告
天文と气象 26-11

0038 应用海底磁强计予报地震
的计划
海底磁力計による地震予
知の提案
宮本貞夫
地震 18 (2)

0034 地震予測的准备工作
(1) (2) (3)
地震予知のための預
备调查 (1) (2) (3)
测候时报 26:6
26:8 26:9

0039 从地震的週期性考慮地震
危險度发生的可能性的
方法
地震の周期特性を考慮
した地震危險度の表現
方法
村松郁榮
地震 15-2

0035 地震予报的基本问题
地震予知的基本的问题
宮本貞夫
地震 (2)

0040 从微震观测推知前震、余
震及群发地震
微小地震観測によって見
出された前震、余震
すび群 地震 (英文)
萩原尊礼他

0036 地震予报与地壳变动
地震予知と地殻変動
植原毅
国土地理院時報 29 14-
21

- 東京大学地震研究所彙
報 41-3
- 0041 箱根火山地震前特殊不定
向磁歪計記録の显著異
常
箱根火山性地震前の特殊
无定位磁歪計に记录し
た著るしい異常
宮本貞夫
地震 16-4
- 0042 大地震前后海平面的平均
变化
大地震前后の平均海水
面变化について(英文)
山口生知
東京大学地震研究所彙報
38-1
- 0043 新潟地震前后海平面的平
均变化
新潟地震前後の平均海水
面变化について(英文)
山口生知
東京大学地震研究所彙報
43(1)
- 0044 地震与地下水
地震と地下水
寺島敦
水利科学 42, 73-79
- 0045 南海道大地震前井戸水の
異常
南海道大地震の前の井戸
水の異常
宮本貞夫
地震(2) 18(3)
- 0046 東京大 学院内深井の水位
变化
東京大学構内深井戸の水
位变化
山口林造
東京大学地震研究所彙報
42-3
- 0047 1961年北美浓地震时貯水
地中水の振蕩
1961年北美浓地震の時に
見られた貯水池の波に
ついて(英文)
岸上冬彦
東京大学地震研究所彙報
40-1

観測技術

- 0048 地震的観測
地震の観測
萩原尊礼
科学 28-7
- 0049 地震的観測
地震の観測
和達清夫他
科学 27-3
- 0050 三ノ点観測的傾斜校正
三ノ点観測における傾斜補正
丸山卓男
東京大学地震研究所彙報
43-2
- 0051 地震観測点の最佳分佈
地震観測点の最佳分佈-
2- (英文)
佐藤泰夫他
東京大学地震研究所彙報
43 (3)
- 0052 地震観測点の最佳分佈
地震観測点の最佳分佈
佐藤泰夫
地震 (2) 18 (1)
- 0053 任松代用越高灵敏度地
震計観測近地震
越高感度地震計による
近地地震の観測-松代
に於いて
浅田敏他
- 地震 (第2輯) 11-1
- 0054 地下地震震動的研究
地下における地震動の研
究 (英文)
金井清他
東京大学地震研究所彙報
37-1
- 0055 深発地震大小確定法
深い地震の Magnitude を
決める一方法
勝又護
震時報 22-4
- 0056 用 A-P S 曲线确定浅发
性地震源深度的方法
一 P S 曲线による浅发
性地震の震源の深さの
決定方法
宮本貞夫
地震 (第2輯) 14-1
- 0057 關於恒震動の考察
恒震動に関する一つの考
察 (英文)
金井清
東京大学地震研究所彙報
36-3
- 0058 日本各地震観測点關於地
震規模 M の系統偏差
日本の各地震観測点にお
ける地震の規模 M の系
統的偏差について

市川政治
地震时报 22-4

地震加速度的推算と自然地震による振動測定
田治見芳他
日本機械学会誌 68 (559)
1013

0059 昭和新山の地震観測と周辺水準点の再測
昭和新山の地震観測と周辺の水準点再測 1963.64
赤谷義俊他
北海道大学地球物理学研究報告 13 105-113

0064 強震計記録の標準加速度波譜と地盤基礎条件
強震計記録による標準加速度スペクトルと地盤基礎条件
中川恭次
日本建築学会論文報告集 昭和40年9月(臨時増刊) P121

0060 地震波譜と共振式的理論分析
地震動スペクトルと共振型解析器の理論
村松郁榮
地震 15:2

0065 地下発電所内の地震観測資料
地下発電所内における地震観測資料
岡本舜三他
生産研究 9-1

0061 从地震计的固有振動记录确定衰减常数的简单方法
地震計の固有振動記録から減衰常数を求める一つの簡単な方法
鈴木次郎他
地震 (第二輯) 10-3,4 12-3 (補).

0066 大垣地方地震的観測
大垣地方における地震の観測-1-
天橋徳太郎
(自然科学) 2-1

0062 推算振動子产生的地震力的一般公式
振動子に作用する地震力を算定する一般公式
Neuman, F.
港湾技術要報 30

0067 新潟地震的航空撮影調査
航空写真による新潟地震の調査
丸安隆和他
生産研究 16-10

0063 J P D R 格纳容器结构的地震加速度的推算与自然地震震動測定法
J P D R 格纳容器構造物

0068 新潟地震的航空測量
新潟地震と航空写真(特集)
写真測量 4(3) 101-144

0069 SERAC 计标机使地震记
录数字化
SERAC に使用された地
震記録のデジタル化
について
萩原庸嘉
日本建筑学会论文报告集
昭和4年9月(臨時增
刊) P 120

0070 水管傾斜計観測报告
水管傾斜計観測报告
佐藤
驗震时报 22-2
P. 13-26

0071 近地震初動の到来方向和
視速度
近地震初動の到来方向と
みかけの速度
宮村三郎, 辻浦賢
東京大学地震研究所汇报
37-2

0072 从破坏论的觀點看地震的
发生方向
地震の起こり方破壊論の
立場から
茂木清夫
地球科学 73

0073 平均有感半径比最大有感
距离更利於确定地震
的大小
平均有感半径が最大有感
距离より地震の規模別
に有效
宮本貞夫
地震 (第2輯) 74-1

0074 Wakayama 区口地震和
地壳变形的观测
On observations of local
earthquakes and the
crustal deformation at
Wakayama
Kishimoto Y.
Spec. Contr. of the Geo-
phys. Inst. Kyoto Univ.
No.1, p.63-71 1963

0075 在研究方大山活动有关的地
震群中所观察到的几新相位(1)
Some new phases observed
in a study of earth-
quake swarms resulting
to volcanic activity(1)
Kizawa T.
Geophys. Mag. 29-4. 1960.

0076 仅只有最大值和最小值的
地震图的还原和分析
Reduction and analysis
of seismograms consis-
ting of only maxima and
minima
Skoko D.
J. of Physics of the Earth
1965 Vol.13 No.1

0077 测定地下地震特性的一些
问题
Some problems on the de-
termination of seismic
characteristics of the
earthground.
Yoshikawa S.
Spec. Contr. of the Geo-
phys. Inst., Kyoto Univ.
No.3, p.333-338 1963

観測仪器

- 0078 各種地震観測儀の試製
地震観測用の諸計器の試
作
田望
北海道大学地球物理学研
究報告 10
- 0079 浅间山火山性震動の観測
装置
浅間山火山性震動観測装
置
斎藤誠
冲電気時報 31-3
- 0080 測定地震の簡易測震計
矢橋徳太郎
科学の实验, 1961, 3
33-89
- 0081 地震観測用簡便地震計
簡単な感震器, 地震観
測用スターター
矢橋徳太郎
地震 (第2輯) 10-34
- 0082 回転地震計
回転動地震計の試作
萩原幸男
地震 (第2輯) 11-3
- 0083 全商用交流電源簡易電子
地震計
松本英照
东京大学地震研究所彙報
37-2
- 0084 地震研究所工型感震器
地震研究所工型感震器
高村竜太郎他
东京大学地震研究所彙報
41-1
- 0085 地震速振器試制報告
發震時速振器試作報告
矢崎敬三
測候時報 27-3
- 0086 具有对数特性的大振幅范
围電子地震計
对数特性広振幅範圍電子
地震計
松本英照
东京大学地震研究所彙報
37-2
- 0087 电磁式地震計概要
电磁式地震計の概要
宇津徳治
測候時報
- 0088 电磁地震計の记录
電磁地震計の記象につ
いて
高木聖
気象庁研究時報 10-5
- 0089 电磁式地震計理論的実験
研究
电磁式地震計の理論的実
験的研究 (英文)-1-
嶋悦三
东京大学地震研究所彙報 9

0090 电磁式地震計の线路
 电磁式地震計の磁気回路
 について

嶋悦三
 東京大学地震研究所彙報
 38-4

0096 电磁式地震計の放大曲线
 电磁式地震計の倍率曲线
 -(1-2)
 宇津徳治
 驗震時報 22-1 (1) 22-3
 (2)

0091 电磁型直接耦合地震計の运转
 电磁型直接耦合地震計の動き

松沢武雄
 地震 (第2輯) 11-4

0097 近地震用 电磁地震計
 近地地震用 电磁地震計につ
 いて 測候時報 27-5

0092 59型光学式 电磁地震計の
 性能試験
 驗震時報 29-1

0098 电磁水平微震儀
 电磁水平動脈動計 (英文)
 岸上冬彦 他
 東京大学地震研究所彙報
 37-2

0093 关于直接耦合电磁地震計
 的特性的田治水表示式
 直接式电磁地震計の特性
 に関する田治水の表現
 式について

鈴木次郎
 地震 (第2輯) 10-3,4

0099 经常性微震測量計
 常時微動計の制作 (英文)
 田中貞二
 東京大学地震研究所彙報
 40-3

0094 电磁地震計の頻率分析法
 电磁地震計の特性を週波
 数分析によつて求める
 方法 (英文)

松本利松
 東京大学地震研究所彙報
 36-1

0100 磁記承多桌配置移动式微
 震観測装置
 (磁気テープ記録による
 移動用多點配置式微小
 地震観測装置)
 松本英照
 東京大学地震研究所彙報
 43-2

0095 电磁地震計の放大率
 电磁地震計の倍率その他
 について (英文)

0101 海底地震計

海底地震計 (英文) - 1 -
岸上冬彦他
東京大学地震研究所彙報
41-4

第三部分
直視記録方式にする長週
期地震計 (第3報)
浦賢
東京大学地震研究所彙報
43-2

0102 海底地震計の制作
海底地震計の製作 (英文)
南云昭三郎他
東京大学地震研究所彙報
43 (4)

0108 地震波効の微波多道
遠距離観測装置
マイク波多重回線によ
る地震波効の遠隔観測
装置
関電機
沖電気時報 32 (2) 24-
81

0103 較長週期地震観測装置の
試制
也長週期の地震観測装置
の試作
吉井敏村
北海道大学地球物理学研
究報告 13 115-125

0109 超高频多道无线电远程記
录地震儀 (2)
超短波多重远隔记录地震
計 (第2報)
辻浦賢 官村攝三
東京大学地震研究所汇报
37-1

0104 长週期地震計の試制
长週期地震計の試作 (书)
大塚道男
地震 16:3

0110 推算直接偶合式電磁记录
器放大系の实例
直接式電磁記錄器の倍率
係數を算出した实例
田治永鏡二他
地震 (第2輯) 13-2

0105 直視记录式长週期地震計
直視記録方式による長週
期地震計 - 1-2 -
辻浦賢
東京大学地震研究所彙報
40-4

0111 使用放大器的電磁记录器
的放大係數
増巾器を併用する電磁記
録器の倍率係數
田治永鏡二
地震 (第2輯) 10-2

0106 数字长周期电子地震計
デジタル長周期無線地
震計システム (英文)
安芸敬一他
地震研究所彙報 43 (2)

0107 直視记录式长周期地震儀 0112 地震観測用起動器

地震観測用スターター
田中寅二
東京大学地震研究所彙報
36-4

小関桂三郎他
地震時報 22-3

0113 使用光电晶体管的起動器
Phototransistorを使った Starter 試作 (英文)
河角広他
東京大学地震研究所彙報
36-4

0118 地震計用放大器的晶体管
化
地震計用増幅器のトラン
ジスタ化について
竹山一郎
地震時報 27-4

0114 使用計数放電管的起動器
計数放電管を用いたスター
ター
山崎良雄
地震 (第2輯) 13-3

0119 地震計用直流放大器的試
制
地震計用直流増幅器の試
作
松尾正之他
東北大学電通談話会記承
28-1

0115 圆锥形振動式起動器的研
究
圆锥振子式起動機につい
ての考察 - 2 -
鎌本博夫
地震時報 22-4

0120 地震儀的晶体管前置放大
器
地震計用トランジスター
前置増幅器
松本英照他
東京大学地震研究所彙報
37-3

0116 帶有起動器的地震観測用
刻時装置
地震観測用のスターター
並びに刻時装置につい
て
電山弘
研究論集 (宇都宮大学学
芸学部) 第2部 6

0121 地震儀用的晶体管放大器
地震計用トランジスター
増幅器
松本英照
東京大学地震研究所彙報
38-2

0117 地震計的脉冲电流起動器
的速度調整装置
パルス電流による地震計
起動部の調整装置につ

0122 人工地震観測用品体管放
大器的試制
人工地震観測用トランジ
スター増幅器の試作
矢野徳太郎他

岐阜大学工学部研究報
告(自然科学) 2-4

さもつ倒立振り子の運動
樋口長太郎
検査時報 22-2 P.1-11

0123 周期頻率分析器
周期頻度解析器(英文)
田中貞二
東京大学地震研究所彙報
40-4

0129 一倍地震計的彈簧裝置的
強度測定試驗報告
一倍強震計ばね強度測定
試驗報告
矢崎敬三
検査時報 27-1 P.17

0124 振動週期的分析裝置
振動周波数分析裝置の試
作
堀田玄
北海道大学地球物理学研
究報告 10

0130 超長周期電流計的試製
超長周期ガレバノメータ
一の試作
深野茂
検査時報 28-1 P.1

0125 自動校準式振動計
自動水準式振動計(英文)
金井清他
東京大学地震研究所彙報
36-3

0131 固有波謠計
固有同期計(英文)
田中貞二
東京大学地震研究所彙報
40-2

0126 建築物振動測定器
建築物の振動と測定計器
中川恭次
計量管理 10-8

0132 关于地震仪反馈系统中长
周期检流计的利用问题
Use of long period gal-
vanometer in a seismo-
graph feed-back system
Aki K.

0127 差动变压器在伸长计中的
应用
差动变压器を用いた伸縮
計
山崎良雄
地震 15-2

In Geophysical papers
dedicated to professor
Kenao Sassa. Kyoto, Ja-
pan, Kyoto Univ. Geo-
phys. Inst., p.1-6,
1963

地震仪反馈系統

0128 受軸向压力的帶有弯軸的
倒立摆的運動
軸方向の壓縮荷重を負っ
ている Flexure Pivot

Notes on seismograph
feedback systems
Mikumo T.
Spec. Contr. of the Geo-
phys. Inst., Kyoto Univ.
2, 141-146, 1963.

13